

○(参照通知) 地方公務員災害補償基金業務規程 の一部改正に伴う事務処理について

〔昭和56年 7 月20日地基企第26号〕
各支部事務長あて 企画課長

第1次改正 昭和57年 9 月30日地基企第33号

地方公務員災害補償基金業務規程（以下「規程」という。）の一部改正については、「地方公務員災害補償基金業務規程等の一部改正について（昭和56年 7 月20日地基企第22号）」により理事長から通知しましたが、改正後の規程第19条の2及び第29条の17の規定の実施については、下記により取り扱ってください。

また、傷病特別支給金及び障害特別支給金の支給については、別添を参考にし
て処理してください。

記

規程第19条の2の規定による通知は、昭和56年 7 月20日以後に行った年金たる補償に係る返還金債権の充当について行い、また、規程第29条の17の規定による傷病特別給付金等の過誤払による返還金債権への充当は、同日以後に発生した過誤払による返還金に係る債権について行う。

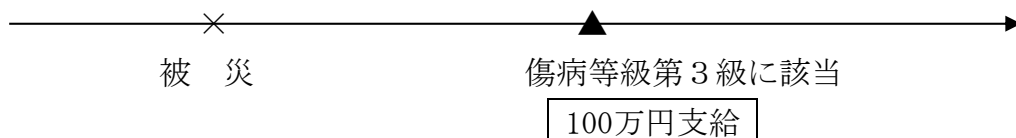
別 添 （第1次改正・一部）

傷病特別支給金及び障害特別支給金の支給例

I 傷病特別支給金

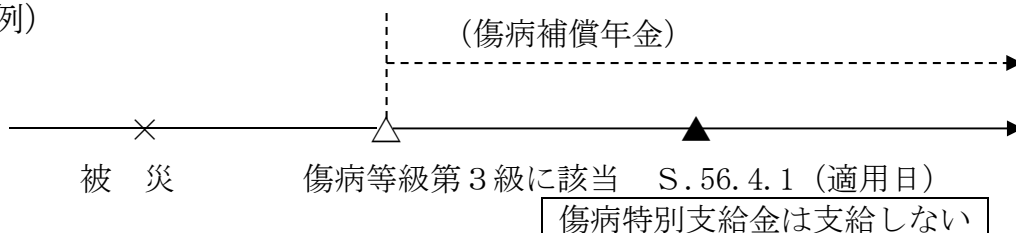
1 通常の場合（規程第29条の5）

(例)



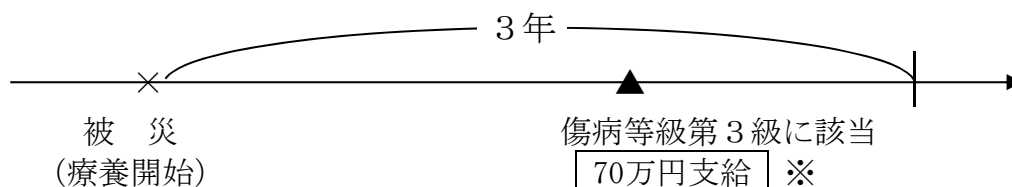
2 適用期日の関係（改正規程附則第5項）

(例)



3 規程第29条の12の規定により支給が制限される場合

(例)

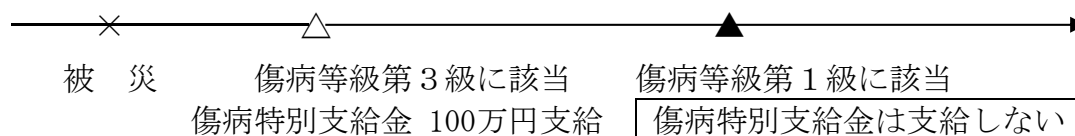


※傷病特別支給金の支給額の計算

$$1,000,000\text{円} - \left(1,000,000\text{円} \times \frac{30}{100}\right) = 700,000\text{円}$$

4 自然増悪の場合（編注：「地方公務員災害補償基金業務規程第25条の2第1項に規定する福祉事業の取扱いについて」（昭和60年11月29日地基企第38号。以下「福祉事業取扱通知」という。）の記の第9の1）

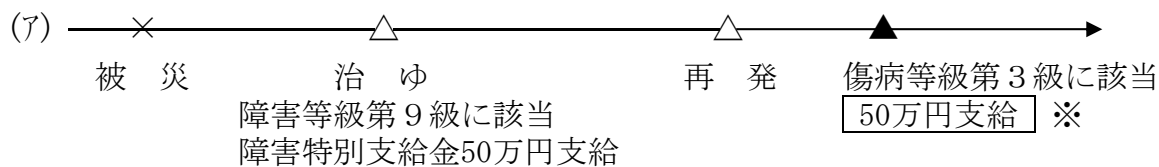
(例)



5 再発の場合

(例1) 同一の傷病に関し、傷病特別支給金の支給を受けていない場合

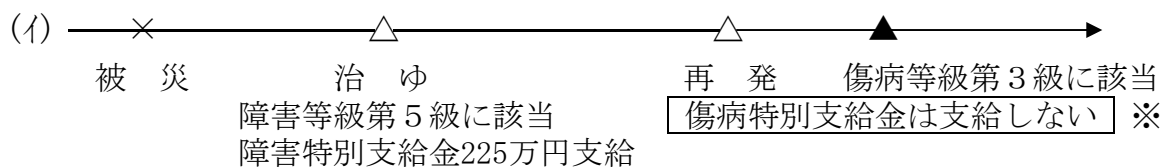
(編注：福祉事業取扱通知の記の第9の2の(2))



※傷病特別支給金の支給額の計算

$$\left[\begin{array}{l} \text{傷病等級第3級の} \\ \text{傷病特別支給金の額} \end{array} \right] - \left[\begin{array}{l} \text{障害等級第9級の} \\ \text{障害特別支給金の額} \end{array} \right] = 500,000\text{円}$$

1,000,000円 - 500,000円 = 500,000円



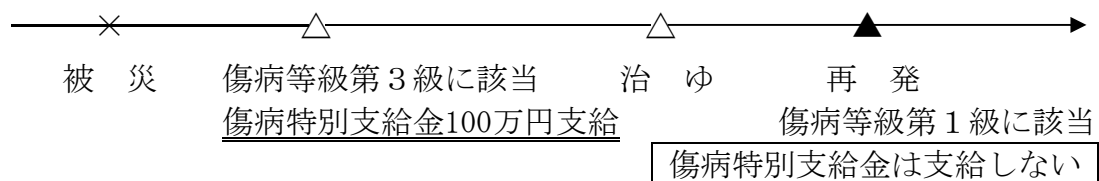
※傷病特別支給金の支給額の計算

$$\left[\begin{array}{l} \text{傷病等級第3級の} \\ \text{傷病特別支給金の額} \end{array} \right] - \left[\begin{array}{l} \text{障害等級第5級の} \\ \text{障害特別支給金の額} \end{array} \right] = \Delta 1,250,000\text{円}$$

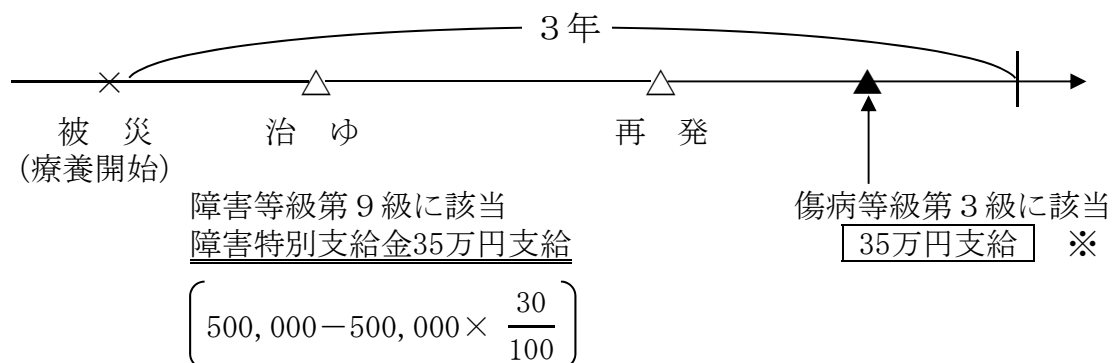
↓

不支給

(例2) 同一の傷病に関し傷病特別支給金の支給を受けた場合（編注：福祉事業取扱通知の記の第9の2の(1)）



(例3) 同一の傷病に関し傷病特別支給金の支給を受けていない場合で、かつ、規程第29条の12の規定により支給が制限される場合



※傷病特別支給金の支給額の計算

$$\left[\begin{array}{l} \text{傷病等級第3級の} \\ \text{傷病特別支給金の額} \end{array} \right] - \left[\begin{array}{l} \text{障害等級第9級の} \\ \text{障害特別支給金の額} \end{array} \right] = 500,000\text{円} \cdots (A)$$

(A)

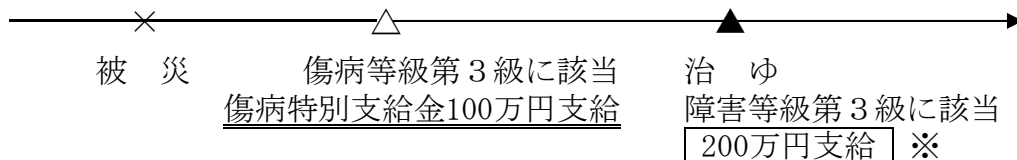
(A)

$$500,000\text{円} - \left[500,000 \times \frac{30}{100} \right] = \underline{350,000\text{円}}$$

II 障害特別支給金の傷病特別支給金との調整

1 通常の場合（規程第29条の6第3項）

（例）

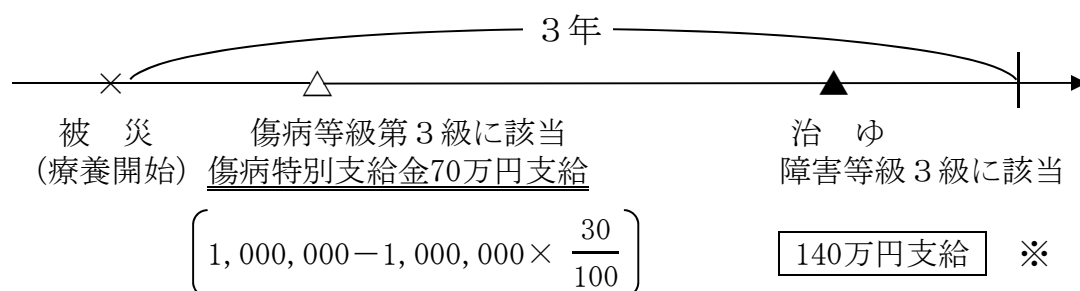


※障害特別支給金の支給額の計算

$$\left[\begin{array}{l} \text{障害等級第3級の} \\ \text{障害特別支給金の額} \end{array} \right] - \left[\begin{array}{l} \text{傷病等級第3級の} \\ \text{傷病特別支給金の額} \end{array} \right] \\ 3,000,000\text{円} - 1,000,000\text{円} = 2,000,000\text{円}$$

2 規程第29条の12の規定により支給が制限される場合

（例）



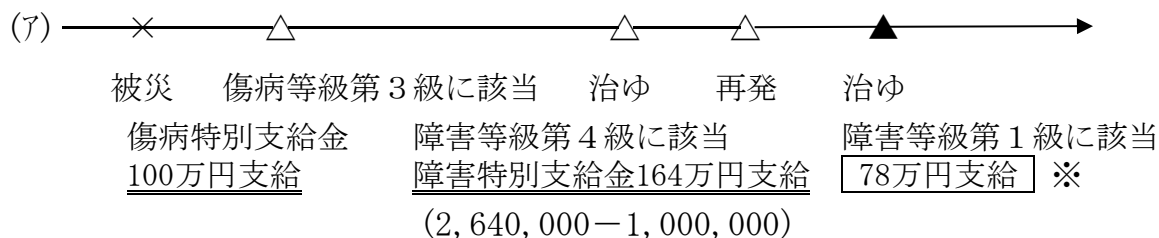
※障害特別支給金の支給額の計算

$$\left[\begin{array}{l} \text{障害等級第3級の} \\ \text{障害特別支給金の額} \end{array} \right] - \left[\begin{array}{l} \text{傷病等級第3級の} \\ \text{傷病特別支給金の額} \end{array} \right] \\ 3,000,000\text{円} - 1,000,000\text{円} = 2,000,000\text{円} \cdots (A) \\ (A) \quad (A)$$

$$2,000,000\text{円} - \left[2,000,000 \times \frac{30}{100} \right] = 1,400,000\text{円}$$

3 再発の場合（編注：福祉事業取扱通知の記の第10の2の(2)）

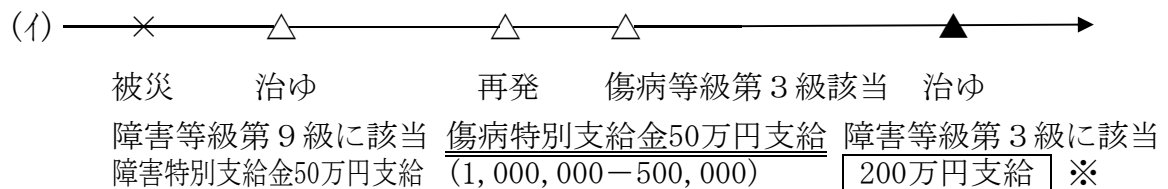
（例）



※障害特別支給金の支給額の計算

$$\left(\begin{array}{l} \text{障害等級第1級（再発等級）の障害特別支給金の額} \\ 3,420,000\text{円} \end{array} \right) - \left(\begin{array}{l} \text{傷病等級第3級の傷病特別支給金の額} \\ (1,000,000\text{円}) \end{array} \right) + \left(\begin{array}{l} \text{障害等級第4級（初発等級）の障害特別支給金の額＜調整後＞} \\ 1,640,000\text{円} \end{array} \right)$$

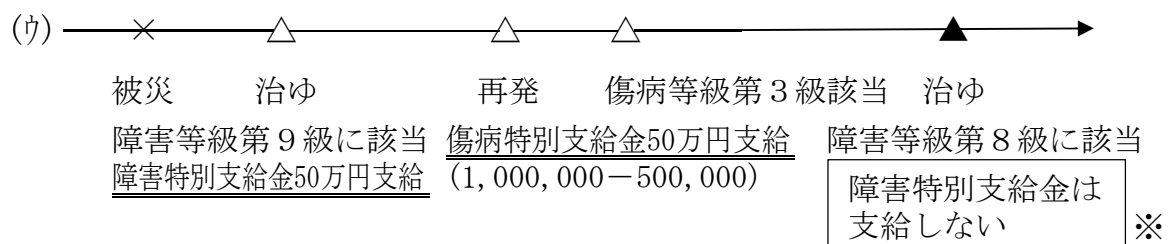
$$= 780,000\text{円}$$



※再発等級に係る障害特別支給金の支給額の計算

$$\left(\begin{array}{l} \text{障害等級第3級（再発等級）の障害特別支給金の額} \\ 3,000,000\text{円} \end{array} \right) - \left(\begin{array}{l} \text{傷病等級第3級の傷病特別支給金の額＜調整後＞} \\ (500,000\text{円}) \end{array} \right) + \left(\begin{array}{l} \text{障害等級第9級（初発等級）の障害特別支給金の額} \\ 500,000\text{円} \end{array} \right)$$

$$= 2,000,000\text{円}$$



※再発等級に係る障害特別支給金の支給額の計算

$$\left(\begin{array}{l} \text{障害等級第8級（再発等級）の障害特別支給金の額} \\ 650,000\text{円} \end{array} \right) - \left(\begin{array}{l} \text{傷病等級第3級の傷病特別支給金の額＜調整後＞} \\ (500,000\text{円}) \end{array} \right) + \left(\begin{array}{l} \text{障害等級第9級（初発等級）の障害特別支給金の額} \\ 500,000\text{円} \end{array} \right)$$

$$= \triangle 350,000\text{円} \Rightarrow \text{不支給}$$